

大使館情報

2023年10月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢 (9月の出来事)

【内政】

- (1) サイクロン被害（リオグランデスル州及びサンタカタリーナ州）
- (2) 内閣改造（スポーツ大臣、港湾・空港大臣、起業・零細・小規模企業大臣）
- (3) バホーゾ連邦最高裁判所（STF）新長官の就任式
- (4) ルーラ大統領の人工股関節手術

【外交】

- (1) ルーラ大統領の G20 ニューデリー・サミット出席
- (2) ルーラ大統領の G77+中国サミット出席
- (3) 日・ブラジル外相会談（国連総会）
- (4) ルーラ大統領の国連総会出席
- (5) ブラジル・アメリカ首脳会談（国連総会）
- (6) ブラジル・ウクライナ首脳会談（国連総会）
- (7) ブラジル・ロシア外相会談（国連総会）

3. トピックス

- (1) 林大使のゴイアス州訪問（8月26～27日）
- (2) 訪日・訪伯観光促進イベントの実施（8月31日）
- (3) 日本酒紹介イベント等の実施（9月13～14日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（9月発表の経済指標）

- (ア) 7月の鉱工業生産は前月比▲0.6%、前年同月比▲1.1%となった。
- (イ) 7月の小売売上高は前月比+0.7%、前年同月比+2.4%となった。
- (ウ) 8月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.23%となった（前月：+0.12%）。直近12か月累計は+4.61%となり、前月（同+3.99%）となった。
- (エ) 失業率（6～8月）は7.8%となり、3か月前（3～5月）の移動平均8.3%から0.5%ポイント低下。また前年同期（2022年6月～8月）の8.9%から1.1%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、9月29日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+2.92%（前週から変わらず）で、2024年は+1.50%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2023年は4.86%（前週から変わらず）で、2024年は3.87%（前週から0.01%ポイント上昇）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 9月5日、財務省は、サステナブル国債の発行についての枠組を公表。環境及び社会政策に関連する資金調達のために発行するもので、枠組は国際的な原則やガイドラインに沿ったものとなっている。
- (イ) 9月18日、財務省は経済見通しを発表。2023年の実質GDP成長率については、前年比+3.2%と見通しを引き上げた（前回7月の見通しは同+2.5%）、2024年は同+2.3%に据え置いた。

(3) 金融政策

9月19日及び20日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて12.75%とすることが決定された。次回会合は10月31日及び11月1日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 9月の為替市場は4.85～5.05リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.87～4.98リアル/ドルで推移。内外の経済動向とそれに伴う金融政策や経済政策の見通し等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は4.85～5.05リアル/ドルで推移。米国金融政策の見通しや同財政を巡る動向等を材料に上下し、下落傾向で推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 9月の株式市場は114,193～119,392ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は115,313～119,392ポイントで推移。伯金融政策の見通しや資源価格の

動向等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

(ウ) 月の後半は 114,193~118,695 ポイントで推移。米国金融政策の見通しや中国経済の動向等を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢 (9 月の出来事)

【内政】

(1) サイクロン被害 (リオグランデドスル州及びサンタカタリーナ州)

9 月 4 日~6 日にかけて、ブラジル南部のリオグランデドスル州及びサンタカタリーナ州でサイクロンが発生し、被害をもたらした。大統領府の発表によると、特にリオグランデドスル州では、数十の都市で洪水が発生し、41 人が死亡、73 人が負傷、7,781 人が避難し、州全体では 13 万 5 千人が被災した。

(2) 内閣改造 (スポーツ大臣、港湾・空港大臣、起業・零細・小規模企業大臣)

9 月 13 日、アンドレ・フフカ／スポーツ大臣 (PP (進歩党) -MA)、シルビオ・コスタ・フィーリョ／港湾・空港大臣 (REP (共和党) -PE) 及びマルシオ・フランサ／起業・零細・小規模企業大臣 (PSB (ブラジル社会党) -SP) の就任式が執り行われた。

(3) パホーゾ連邦最高裁判所 (STF) 新長官の就任式

9 月 28 日、ルイス・ロベルト・パホーゾ連邦最高裁判所 (STF) 新長官の就任式が執り行われた。ローザ・ウェベル前長官が定年を迎えたため、STF の規定により副長官であったパホーゾ判事が昇格した。同長官の任期は 2025 年 10 月までとなる。

(4) ルーラ大統領の人工股関節手術

9 月 29 日、ルーラ大統領は人工股関節置換手術を受けた。経過は良好で、術後 4 週間~6 週間で、日常生活に支障がない程度に歩行可能となる。

【外交】

(1) ルーラ大統領の G20 ニューデリー・サミット出席

9 月 9 日及び 10 日、ルーラ大統領は G20 ニューデリー・サミットに出席し、2024 年の伯議長国下における G20 開催に際する以下 3 つの優先事項を発表した。①「飢餓、貧困、不平等との闘い」、②「エネルギー転換と 3 つの観点 (経済、社会、環境) における持続可能な開発」、③「グローバルガバナンス改革」。

また、9 日、エルドアン・トルコ大統領、10 日、モディ・インド首相、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長及びシャルル・ミシェル欧州委員会議長、マクロン・フランス大統領、ルッテ・オランダ首相、ムハンマド・サウジアラビア皇太子兼首相とそれぞれ二国間会談を行った。ブラジル・インド首脳会談では、IBSA (インド、ブラジル、南アフリカ) の 3 カ国間におけるハイレベル対話の推進を約束し、インドはブラジルの安保理常任理事国入りを支持した。

(2) ルーラ大統領の G77+中国サミット出席

9 月 16 日、ルーラ大統領は G77+中国サミット (於: キューバ) に出席した。ルーラ大統領は、サミット後に、ディアス=カネル・キューバ大統領と二国間会談を行った。保健・科学技術・農業開発の 3 分野で協力協定が結ばれた。

(3) 日・ブラジル外相会談 (国連総会)

9月18日、上川外相は、国連総会のマージンでヴィエイラ・ブラジル外相と約30分間にわたり会談を行った（詳細は以下の外務省HPをご覧ください）。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/page4_005995.html

（４） ルーラ大統領の国連総会出席

9月19日及び20日、ルーラ大統領は国連総会（於：ニューヨーク）に出席した。一般討論演説では、格差の是正を訴えると共に飢餓・貧困対策、気候変動対策及びグローバルガバナンス改革を呼びかけた。また、ルーラ大統領は国連総会のマージンにおいて、19日はEU、オーストリア、ドイツ、ノルウェー及びパレスチナ、20日はアメリカ及びウクライナと二国間会談を行った。

（５） ブラジル・アメリカ首脳会談（国連総会）

9月20日、ルーラ大統領は国連総会のマージンでバイデン・アメリカ大統領と二国間会談を行った。両首脳は、質の高い雇用の創出に向けたプログラムに加え、民主主義、エネルギー転換、環境保護についての意見交換を実施した。両首脳は、「労働者の権利のためのパートナーシップ（the US-Brazil Partnership for Workers' Rights）」を発表した。デーセントワーク推進を目的とした両国のイニシアティブは初めてのものであった。

（６） ブラジル・ウクライナ首脳会談（国連総会）

9月20日、ルーラ大統領は国連総会のマージンで、就任後初となる、ゼレンスキー・ウクライナ大統領との二国間会談を行った。両首脳は、両国関係強化の促進、ウクライナとロシアの紛争を和平に導く解決策を模索することの重要性について議論した。ヴィエイラ伯外相は、記者ブリーフにおいて、「会談は、穏やかで友好的な雰囲気の中で行われ、両首脳は、現在の世界情勢について情報交換した。ルーラ大統領は、平和の可能性について話し合うウクライナ和平会議に伯代表が引き続き参加すると述べた」と説明した。

（７） ブラジル・ロシア外相会談（国連総会）

9月21日、ヴィエイラ外相は国連総会のマージンで、ラブロフ・ロシア外相と会談を行った。両外相は、ハイレベル委員会など両国間のハイレベル・コンタクト・メカニズムの日程再開について協議した。また、2024年におけるブラジルのG20議長国とロシアのBRICS議長国就任に向けた調整についても協議した。

3. トピックス

（１） 林大使のゴイアス州訪問（8月26～27日）

8月26～27日の間、林大使はゴイアス州を訪問した。

26日午前、林大使は、ロナウド・カイアド/ゴイアス州知事を表敬し、日本と同州との今後の協力方途につき意見交換を行った。表敬時には、ゴイアス州の内外を問わず、同州に貢献した人物に送られる最高の荣誉であるアニャンゲラ功労勲章がカイアド州知事から林大使に授与された。表敬後、当地のテレビ局からも訪問の意義等についてインタビューを受けた（インタビューの内容は下記リンクをご覧ください）。その後、ゴイアス州の元国費留学生・JICA研修生と意見交換を行った。

[TV Serra Dourada SBT](#)

[TV Brasil Central-TBC](#)



ロナウド・カイアド／ゴイアス州知事の表敬



元国費留学生・JICA 研修生との意見交換

26 日夜は、在ブラジル日本国大使館がゴイアス日伯協会（ANBG）と共催で開催したゴイアス盆踊り 2023 に参加した。林大使が開会のあいさつを行った他、大使館ブースにて、館員が国費留学生等の案内を行った。また、ブラジル政府側からはロジェーリオ・クルス・ゴイアニア市長やエドゥアルド・プラド州議員、日系人タレントのユージ・タマシロ氏が参加し、祭りを盛り上げた（ゴイアス盆踊り 2023 の様子は[こちらのリンク](#)からご覧いただけます）。また 27 日はアナポリス日伯文化協会を訪問し、マツバラ会長らと意見交換を行った。



ゴイアス盆踊り 2023 の模様



アナポリス日伯文化協会の訪問

（2）訪日・訪伯観光促進イベントの実施（8月31日）

8月31日、在ブラジル日本国大使館は、訪日・訪伯の双方の観光交流の促進・活性化を図ることを目的に、イベントを実施した。本イベントは、ブラジル人の訪日に係る短期査証を免除する措置を歴史上初めて開始することとして日本政府が発表したこと、そして日本人の訪伯に係る短期査証を免除する措置を継続することとして伯連邦政府が発表したことを踏まえて開催したものである。

本イベントには、日本政府関係者として豊田俊郎国土交通副大臣、伯連邦政府関係者としてセルソ・サビーノ観光大臣、マルセロ・フレイショ Embratur（伯観光公社）総裁等、連邦議員としてキン・カタギリ伯日議連第一副会長等が参加したほか、日系航空会社、日伯旅行会社、プレスやインフルエンサーも参加した。日本大使館は、今回の短期査証を免除する措置を契機として、両国間の双方向での観光促進、そして人的交流、経済・文化交流を活性化させるべく、引き続き最大限努力してまいります。



(3) 日本酒紹介イベント等の実施（9月13～14日）

13日、在ブラジル日本国大使館は、齋藤美幸金水晶酒造店代表取締役を日本からお招きし、日本酒への理解増進及び販売促進を目的として、大使公邸にて、日本酒紹介イベントを開催した。同イベントにおいて、齋藤代表取締役より、日本酒製造や当地での日本酒事情等について講演頂いた他、招待者らに対し金水晶の「大吟醸原酒しずく搾り」、「純米酒」、「ちびもも」及び当地でも購入可能な「獺祭」とともに、各日本酒に合う料理が提供された。同イベントには、当地ソムリエ協会をはじめとする飲食関係組合、小売業者、レストラン関係者、ワインショップ、ワイン輸入業者及びメディアなどが参加した。

また、14日は、女性の活躍推進を目的とするイベントを開催した。同イベントには、国会議員の補佐官、女性省官僚、当地日系団体REN Brasilの女性グループREN Mulheresのメンバー等を招待し、齋藤代表取締役より、自身の女性社長としての経験や苦勞等に関して講演

して頂いた。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNSにて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令

和5年度第2四半期)は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anken_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anken.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

http://www.anken.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anken.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

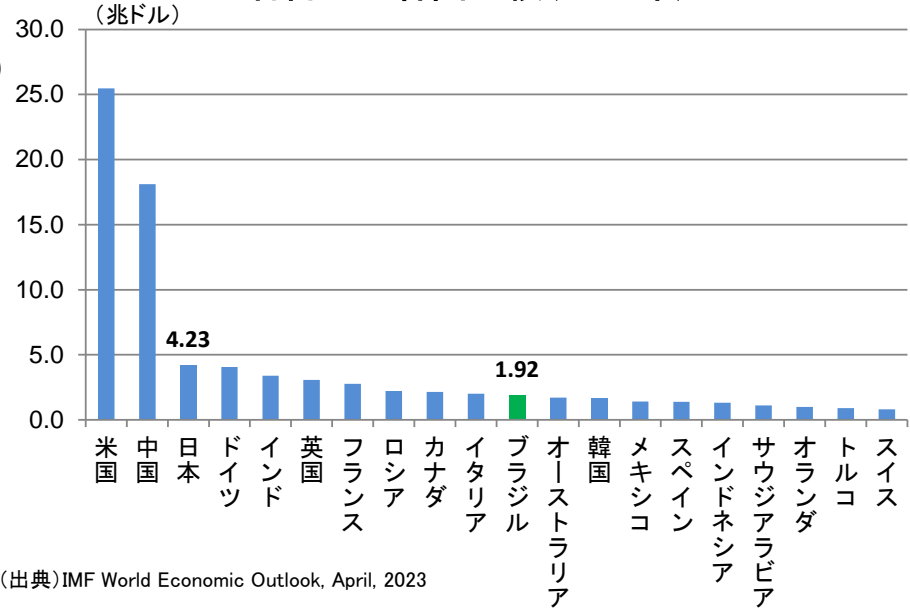
https://www.anken.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

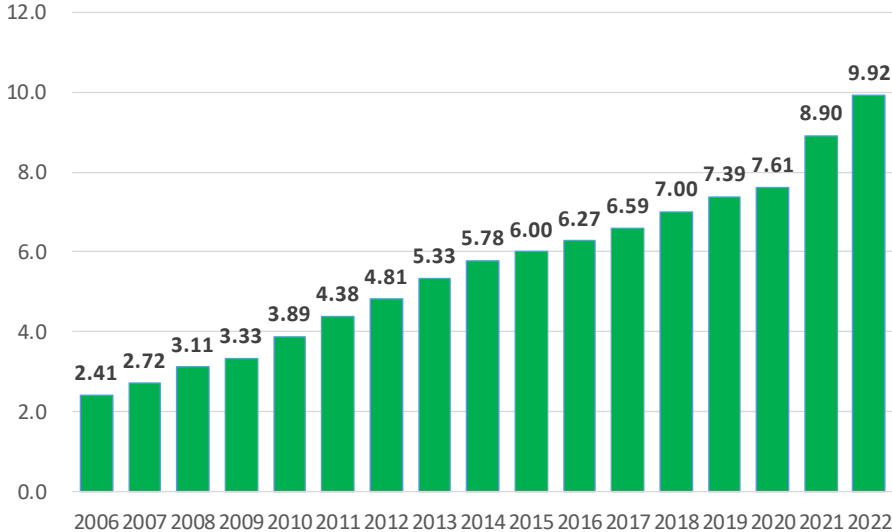
1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約8,995ドル(2022年見通し))は、日本の約27%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較(2022年)

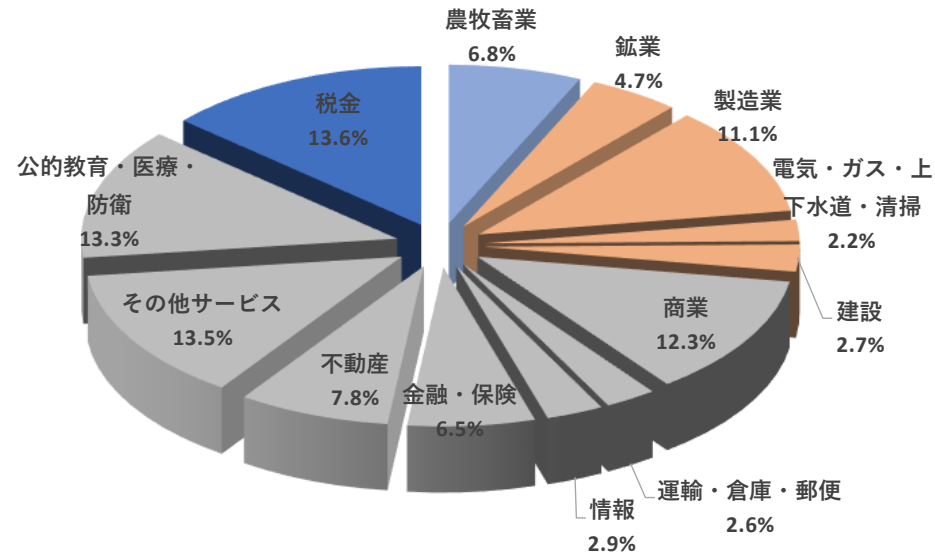


名目GDPの推移

(兆リアル)



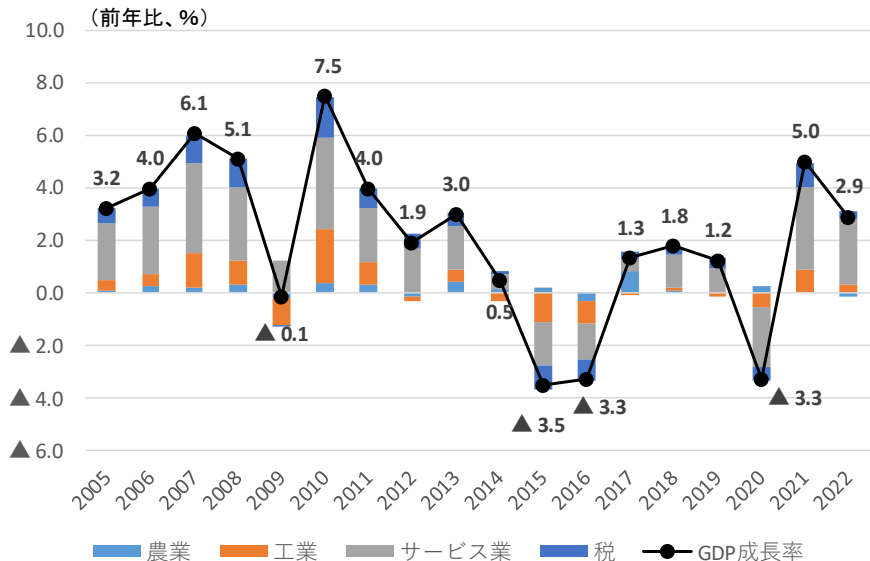
名目GDPの産業別構成比(2022年)



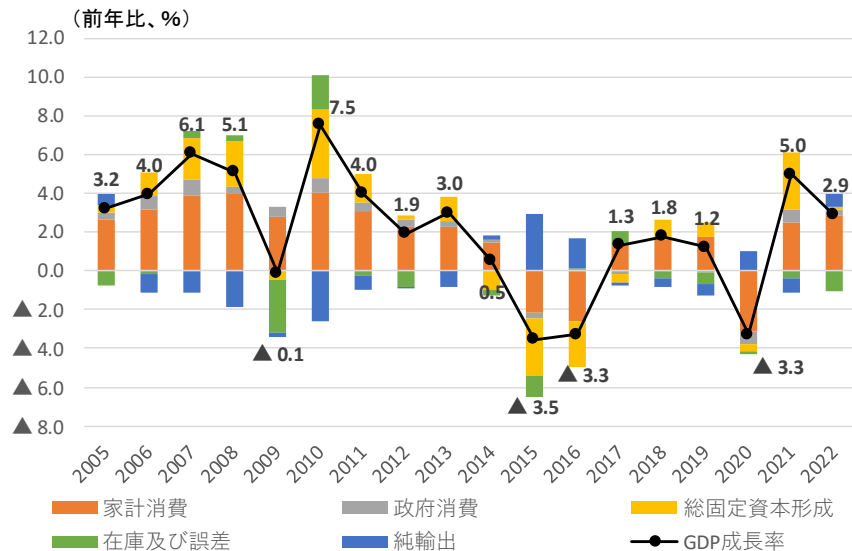
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が9月に発表した2023年第2四半期の実質GDP成長率は前期比+0.9%(8四半期連続のプラス)、前年同期比+3.4%(10四半期連続のプラス)となった。

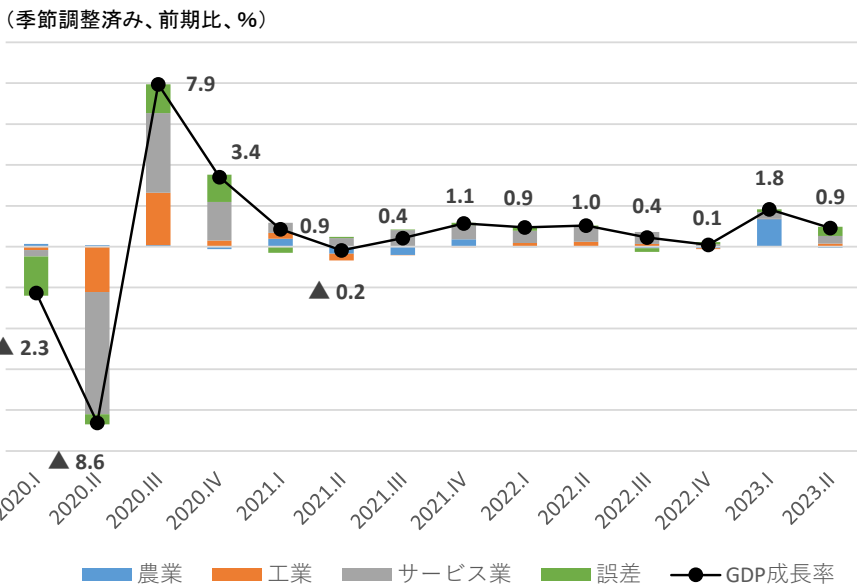
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



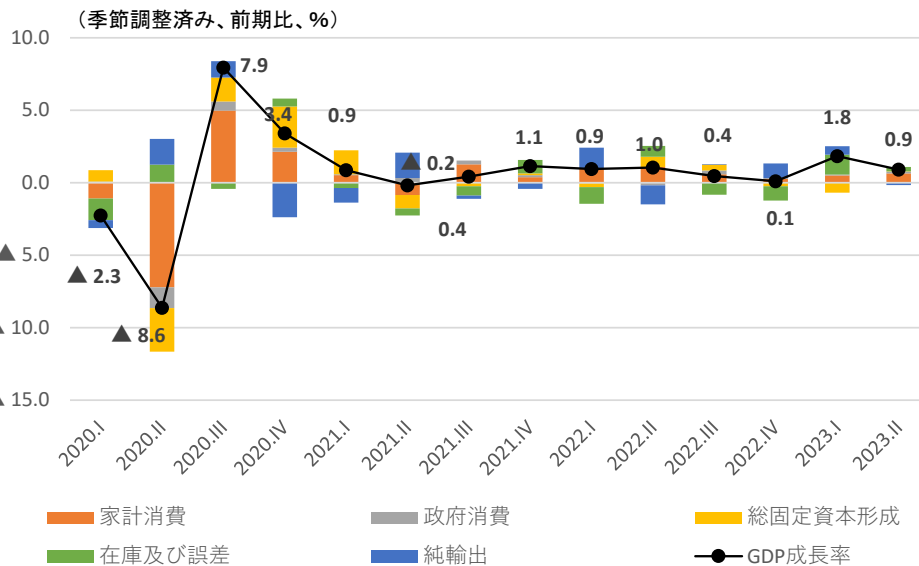
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



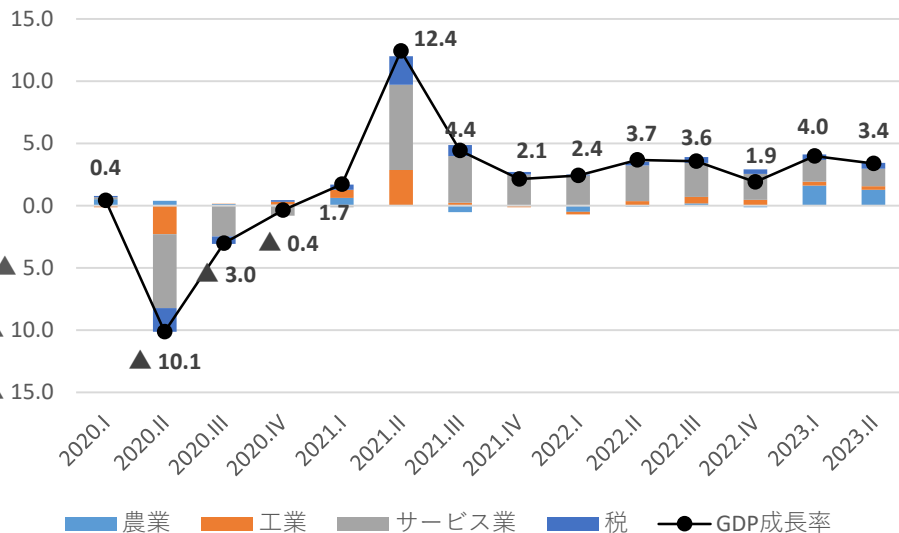
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院 (IBGE) 2

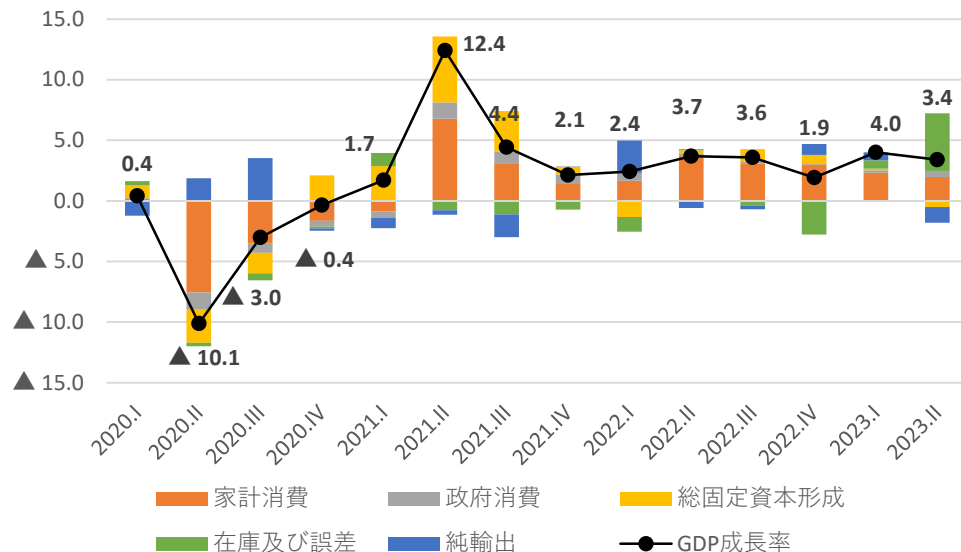
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

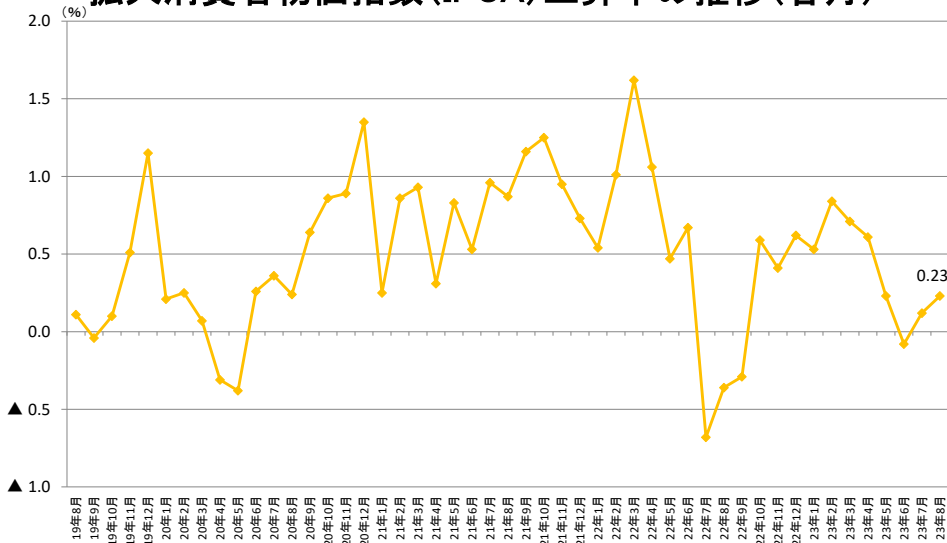
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2023	2024
IMF (2023年7月)	+2.1%	+1.2%
伯財務省 (2023年9月)	+3.2%	+2.3%
伯中銀 (2023年9月)	+2.9%	+1.8%
伯中銀Focus (2023年9月29日)	+2.92%	+1.50%

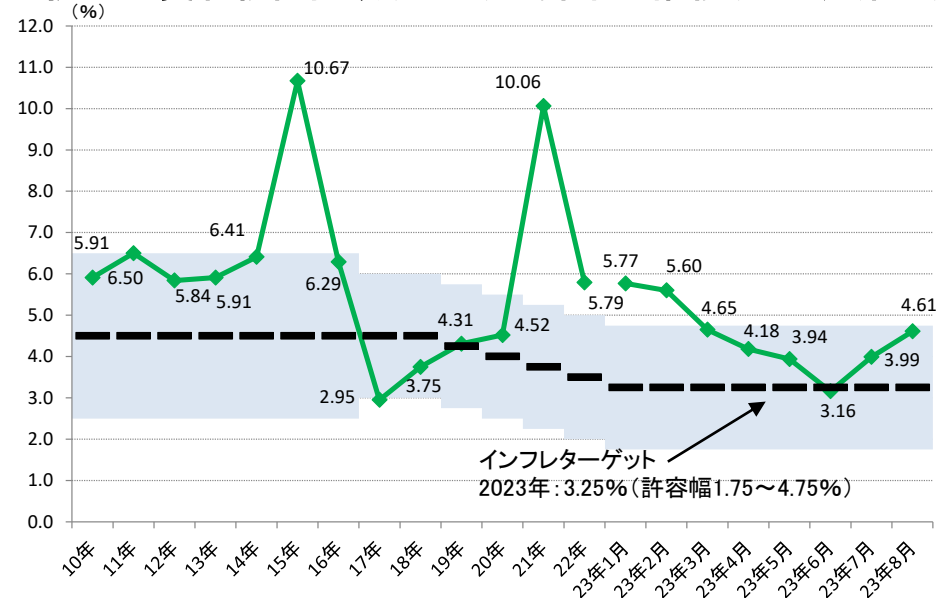
物価の動向と政策金利

8月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.23%、直近12か月累計では+4.61%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



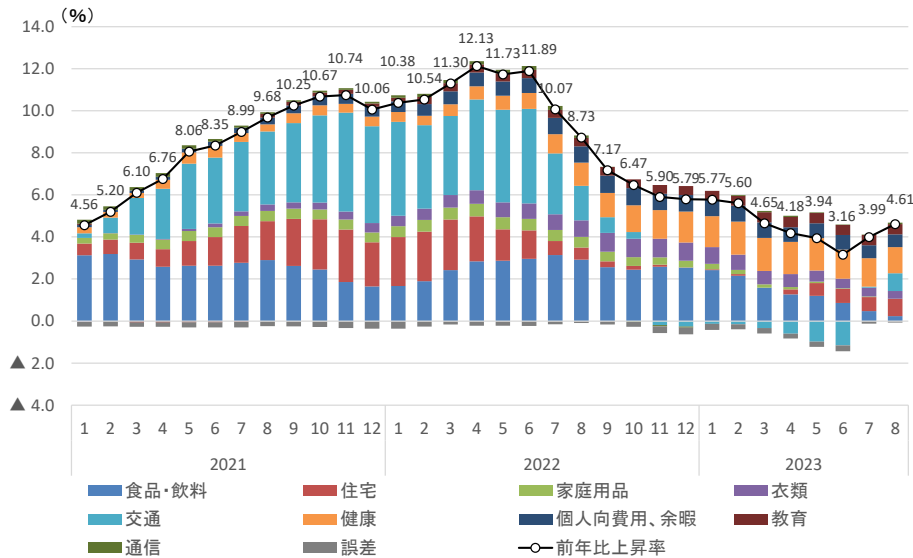
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

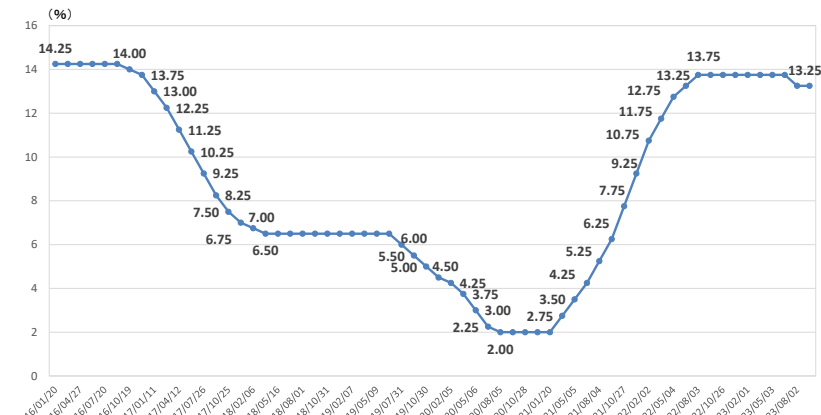
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



政策金利の推移(2016年~)

9月19日及び20日に開催された伯中央銀行金融政策委員会(Copom)において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて12.75%とすることが決定された。次回会合は10月31日及び11月1日に開催予定。

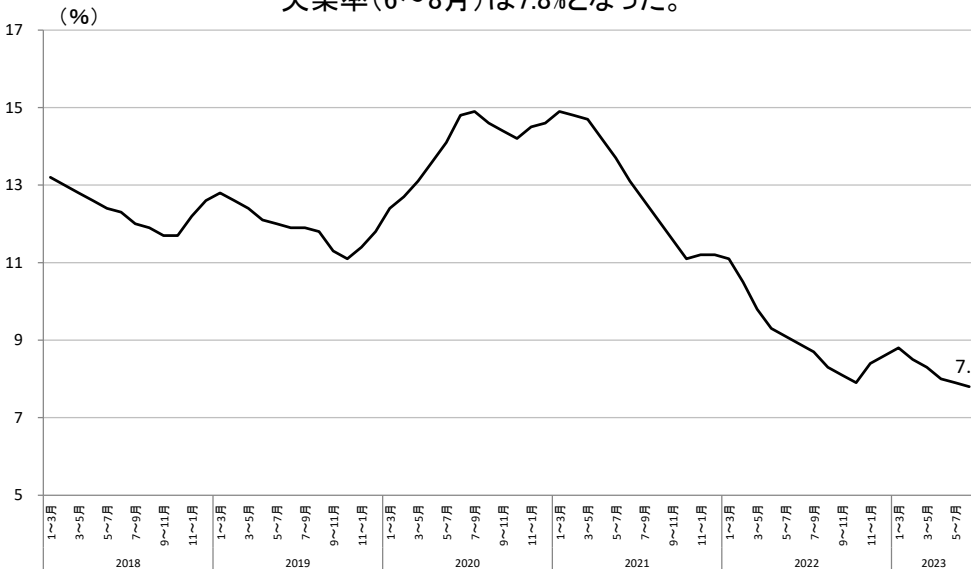


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

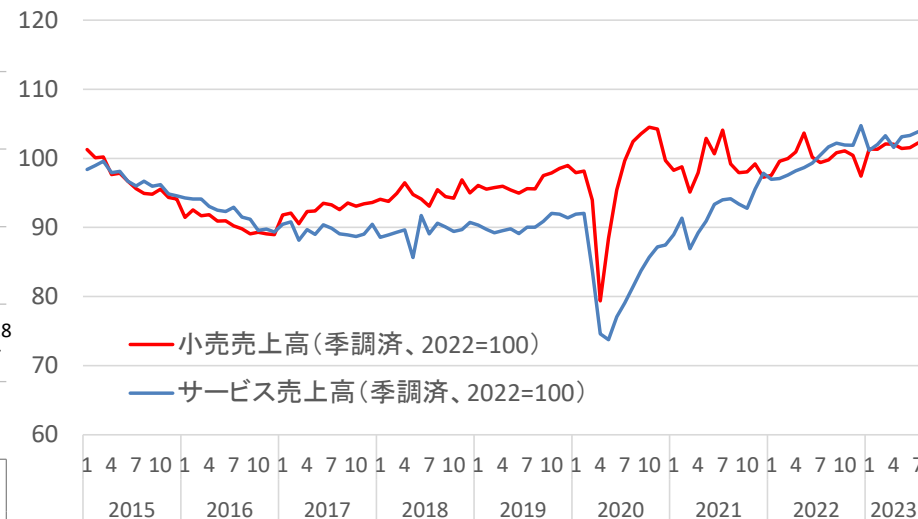
失業率(6~8月)は7.8%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(7月)は前月比+0.7%、前年同月比+2.4%となった。サービス売上高(7月)は前月比+0.5%、前年同月比+3.5%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(7月)は前月比▲0.6%、前年同月比▲1.1%となった。

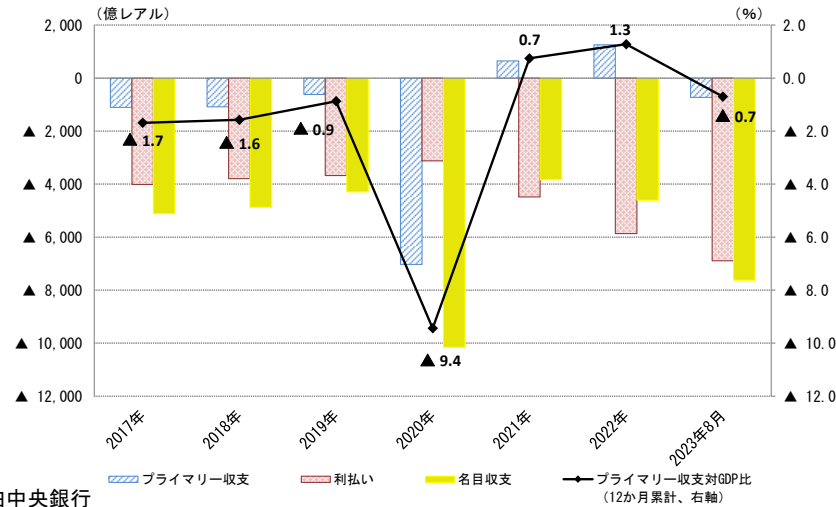
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2023年8月のプライマリ収支(税収等と政策的経費の収支)は▲731億レアルの赤字、利払い費は▲6,894億レアルで、これらを合計した名目収支は▲7,625億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

国際収支

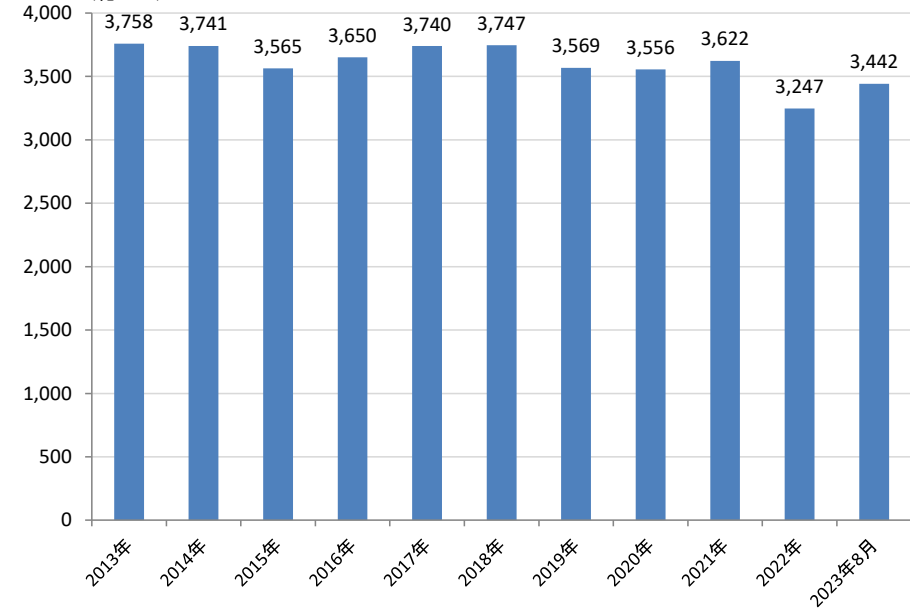
(億ドル)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 8月
経常収支	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 464	▲ 536	▲ 195
貿易収支	434	265	324	364	442	516
サービス収支	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 270	▲ 396	▲ 234
第1次所得収支	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 619	▲ 482
第2次所得収支	▲ 0	12	23	32	37	6
資本移転収支	4	4	41	2	2	2
金融収支	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 502	▲ 554	▲ 175
直接投資	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 539	▲ 246
対外直接投資	20	228	▲ 35	162	334	132
対内直接投資	782	692	378	464	872	379
証券投資	69	192	129	▲ 79	42	▲ 3
金融派生商品	28	17	54	▲ 10	▲ 20	▲ 26
その他投資	113	▲ 128	247	▲ 251	36	▲ 83

(出典) 伯中央銀行

外貨準備高

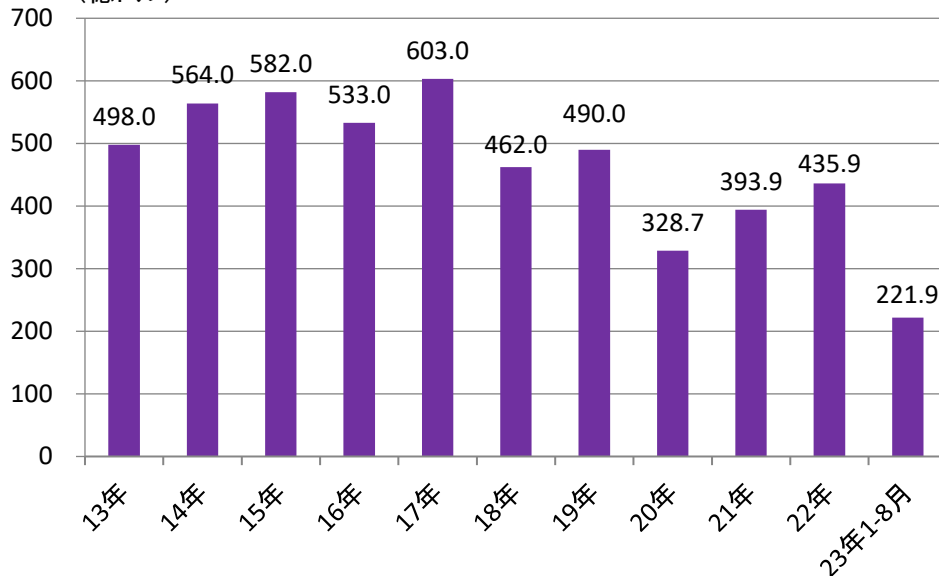
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

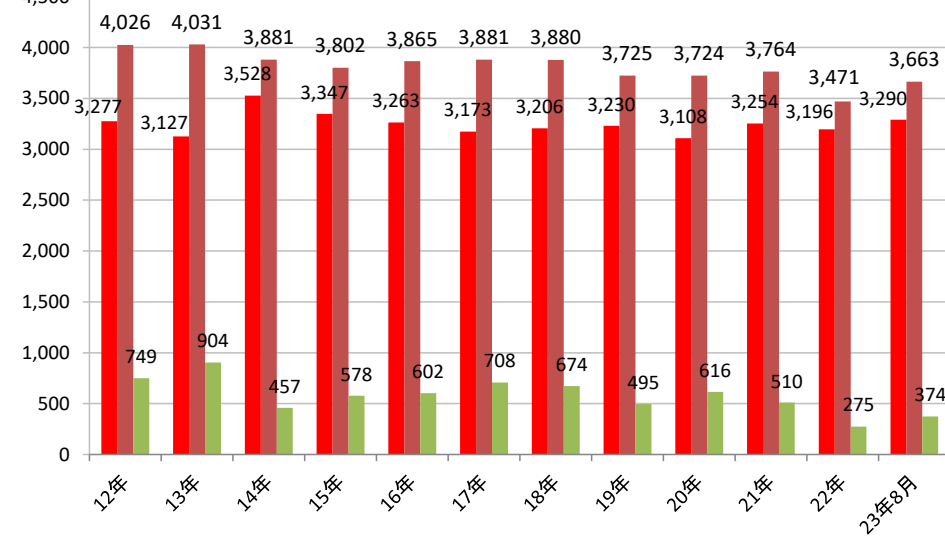
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

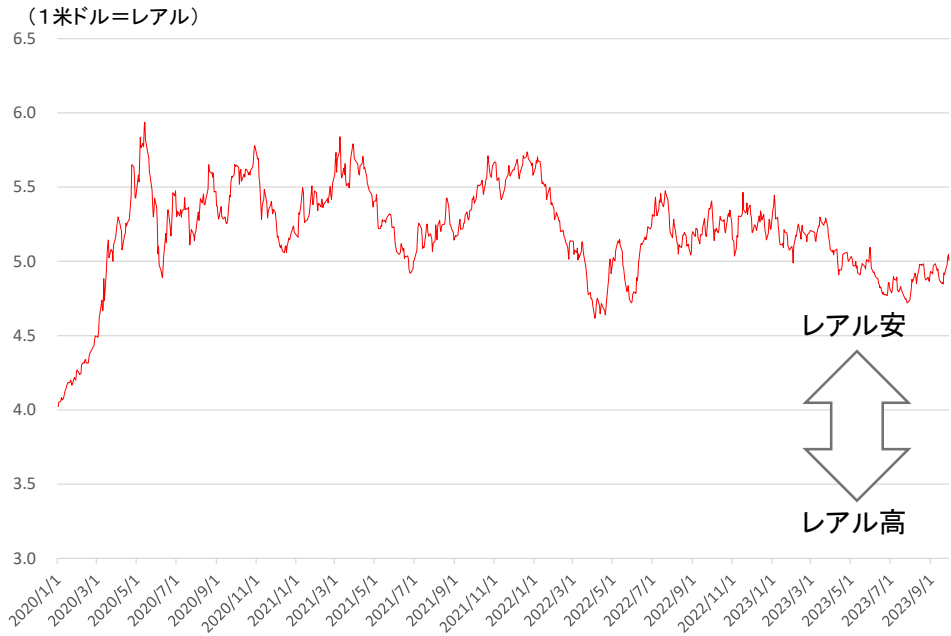
為替・株価の推移

9月の為替市場は4.85～5.05リアル/ドルで推移。

月の前半は4.87～4.98リアル/ドルで推移。内外の経済動向とそれに伴う金融政策や経済政策の見通し等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。

月の後半は4.85～5.05リアル/ドルで推移。米国金融政策の見通しや同財政を巡る動向等を材料に上下し、下落傾向で推移した。

為替の推移(対米ドル)



(出典) 伯中央銀行

9月の株式市場は114,193～119,392ポイントで推移。

月の前半は115,313～119,392ポイントで推移。伯金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

月の後半は114,193～118,695ポイントで推移。米国金融政策の見通しや中国経済の動向等を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



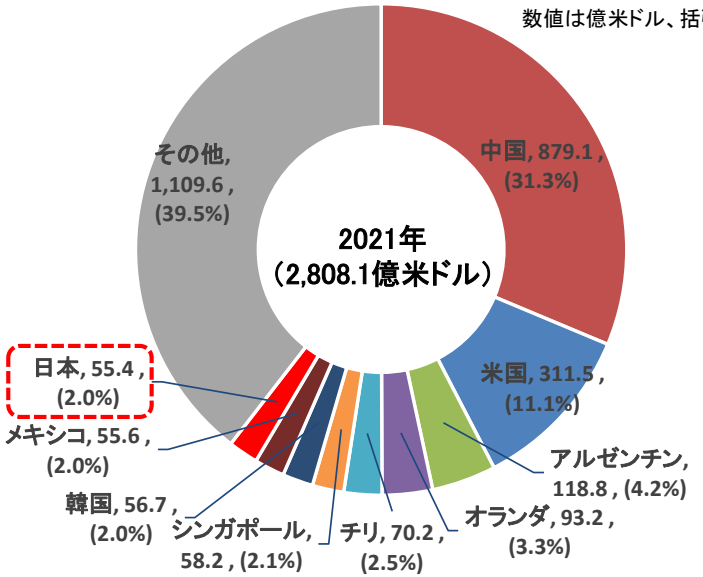
(出典) B3

III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2022年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となっている。

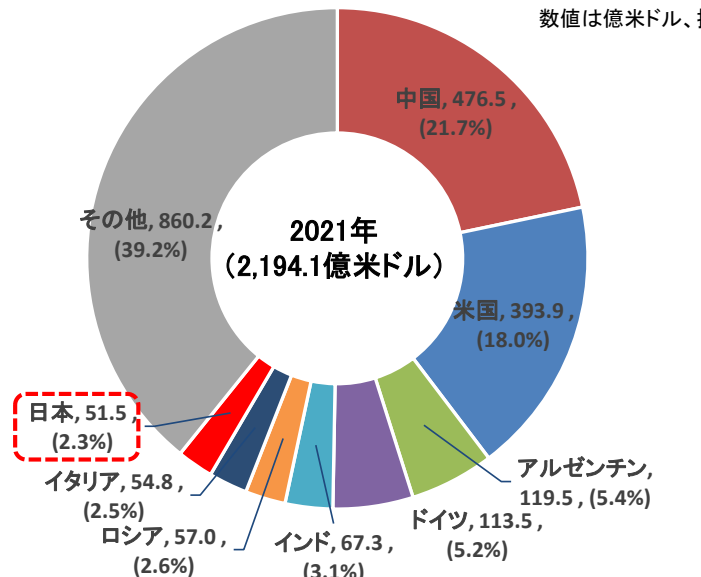
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



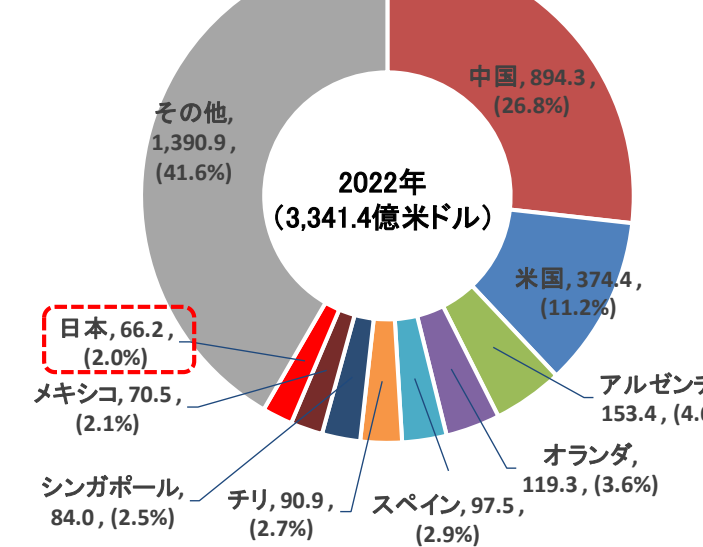
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



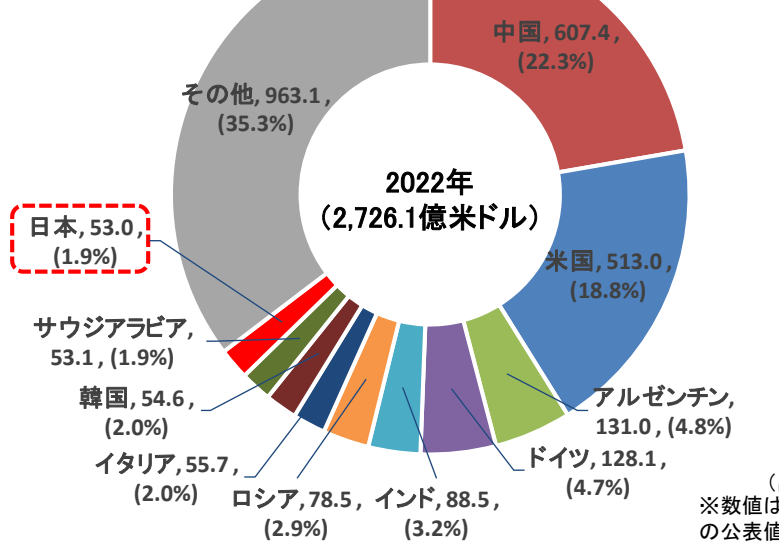
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比(国別)

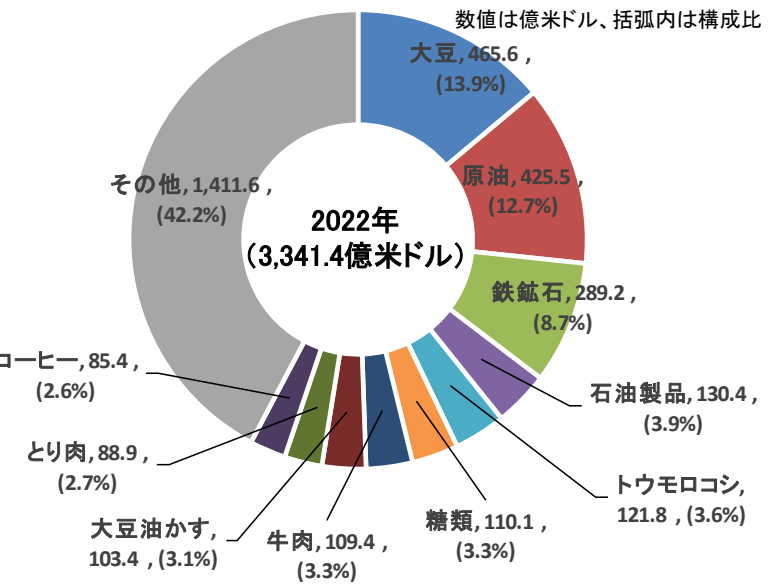
数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC
※数値は2023年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車部分品を中心に、電気機器など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	465.6	100.0
① 中国	317.8	68.3
② スペイン	19.4	4.2
③ タイ	16.8	3.6
④ イラン	13.5	2.9
⑤ オランダ	11.3	2.4

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	425.5	100.0
① 中国	165.3	38.8
② 米国	50.6	11.9
③ スペイン	35.7	8.4
④ チリ	31.3	7.4
⑤ ポルトガル	25.3	5.9

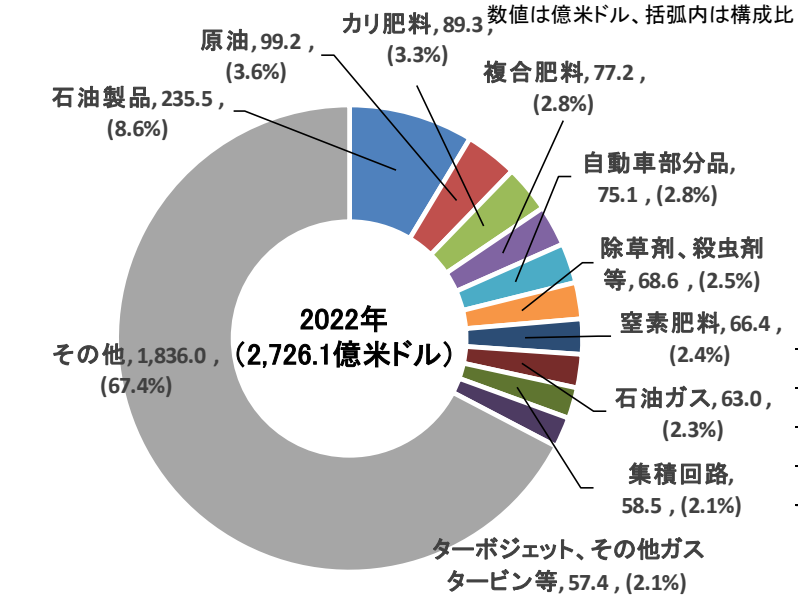
【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	289.2	100.0
① 中国	181.9	62.9
② マレーシア	15.2	5.3
③ バーレーン	13.3	4.6
④ 日本	11.0	3.8
⑤ 韓国	8.6	3.0

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	130.4	100.0
① シンガポール	58.6	44.9
② オランダ	8.8	6.8
③ 米国	4.9	3.8
④ ヴァージン諸島	4.8	3.7
⑤ パナマ	4.7	3.6

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	235.5	100.0
米国	127.9	54.3
インド	25.9	11.0
UAE	22.4	9.5
オランダ	11.7	5.0
ロシア	11.1	4.7

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	99.2	100.0
① サウジアラビア	32.0	32.3
② 米国	30.0	30.3
③ UAE	11.9	12.0
④ オランダ	5.8	5.9
⑤ ロシア	5.7	5.7

【カリ肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	90.7	100.0
① カナダ	37.1	40.9
② ロシア	24.3	26.8
③ イスラエル	8.7	9.6
④ ドイツ	8.4	9.3
⑤ ベラルーシ	3.6	4.0

【複合肥料】

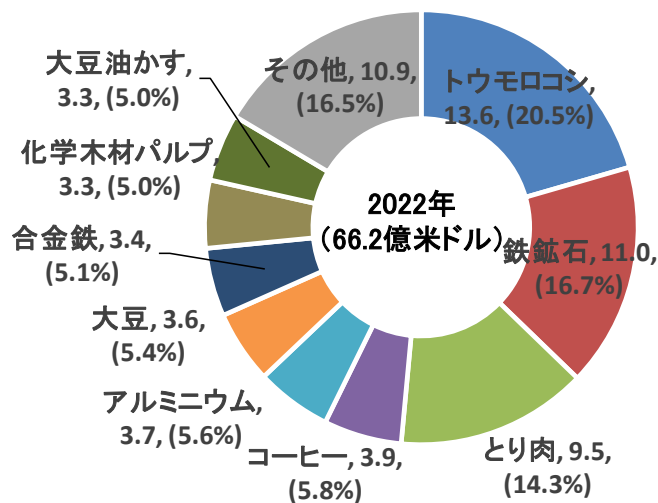
	億米ドル	構成比(%)
合計	77.2	100.0
① ロシア	22.4	29.0
② 米国	14.8	19.2
③ モロッコ	13.3	17.2
④ 中国	8.0	10.3
⑤ サウジアラビア	7.2	9.3

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

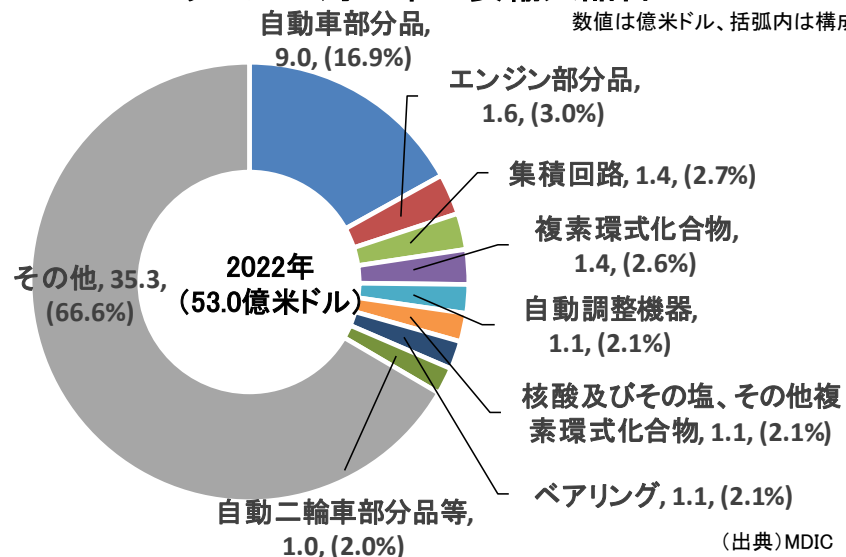
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2022年)

輸出品目	億円	構成比 (%)	輸出品目	億円	構成比 (%)	輸出品目	億円	構成比 (%)	輸出品目	億円	構成比 (%)
【とうもろこし】			【鉄鉱石】			【とり肉】			【アルミニウム】		
総計	7,643.4	100.0	総計	18,050.2	100.0	総計	2,077.8	100.0	総計	9,206.4	100.0
① アメリカ合衆国	4,921.7	64.4	① オーストラリア	9,579.8	53.1	① <u>ブラジル</u>	1,407.5	67.7	① アラブ首長国連邦	1,711.6	18.6
② <u>ブラジル</u>	1,744.7	22.8	② <u>ブラジル</u>	5,818.4	32.2	② タイ	611.4	29.4	② ロシア	1,501.2	16.3
③ アルゼンチン	530.2	6.9	③ カナダ	1,313.9	7.3	③ アメリカ合衆国	33.6	1.6	③ オーストラリア	1,388.7	15.1
④ 南アフリカ共和国	379.6	5.0	④ 南アフリカ共和国	611.0	3.4	④ ハンガリー	6.2	0.3	④ ニュージーランド	681.0	7.4
⑤ ウクライナ	41.7	0.5	⑤ アメリカ合衆国	273.4	1.5	⑤ フランス	6.0	0.3	⑤ サウジアラビア	586.1	6.4
【コーヒー】			【大豆】			【合金鉄】			⑥ 中華人民共和国	503.6	5.5
総計	2,333.3	100.0	総計	3,391.0	100.0	総計	4986.1	100.0	⑦ <u>ブラジル</u>	476.6	5.2
① <u>ブラジル</u>	572.6	24.5	① アメリカ合衆国	2,420.1	71.4	① カザフスタン	956.3	19.2			
② コロンビア	396.4	17.0	② <u>ブラジル</u>	570.1	16.8	② 中華人民共和国	557.3	11.2			
③ ベトナム	306.6	13.1	③ カナダ	364.6	10.8	③ ロシア	533.6	10.7			
④ エチオピア	179.9	7.7	④ 中華人民共和国	33.4	1.0	④ <u>ブラジル</u>	500.8	10.0			
⑤ グアテマラ	175.8	7.5	⑤ ロシア	2.7	0.1	⑤ マレーシア	497.0	10.0			

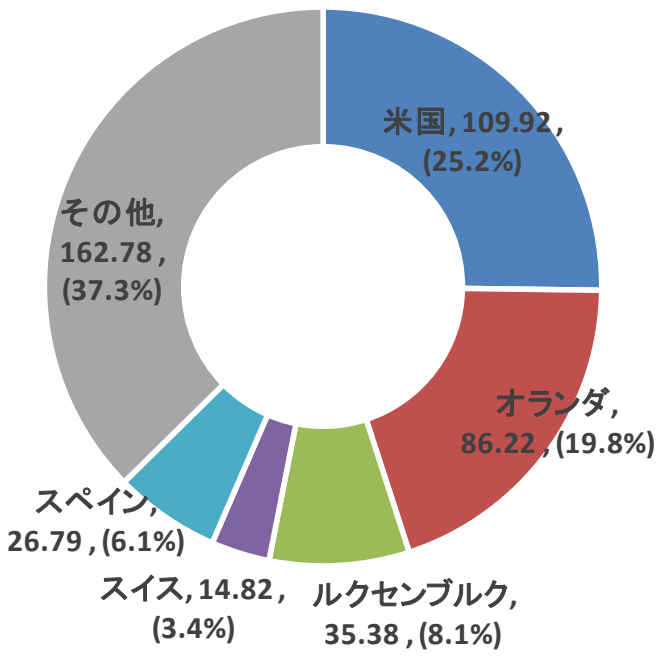
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

(出典)財務省(日本)
※数値は2023年3月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比 総額435.9億ドル(2022年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



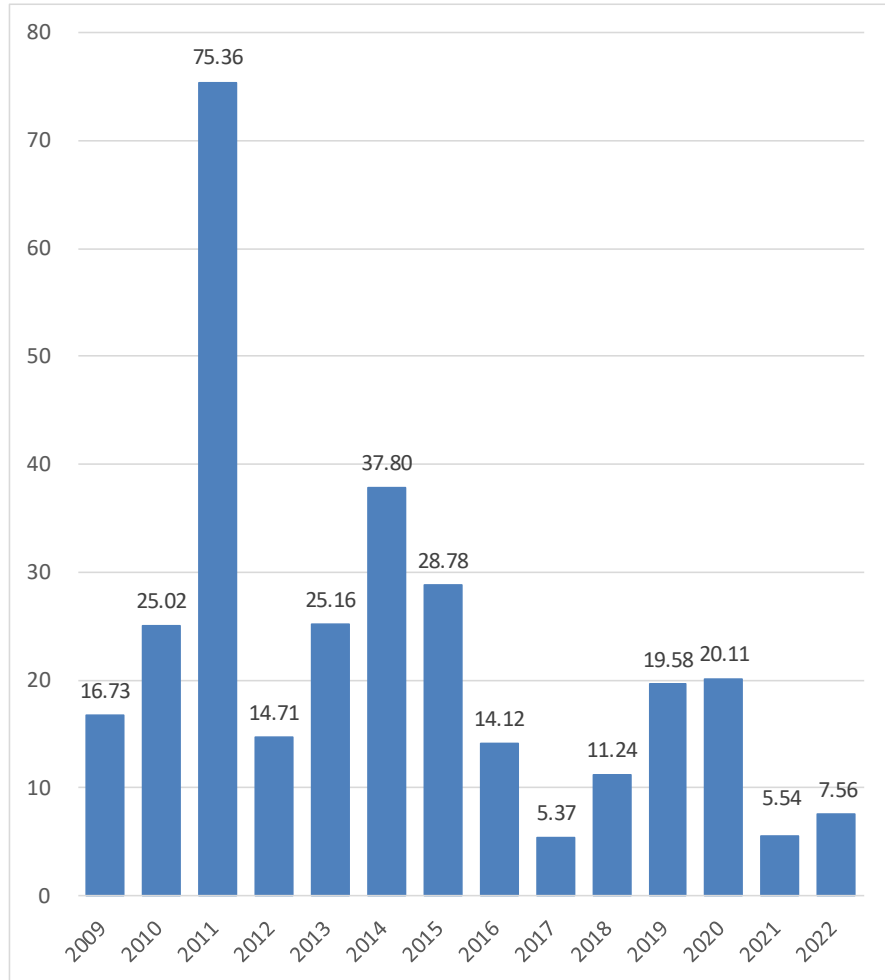
(出典) 伯中央銀行

2022年の日本の直接投資額(資本参加分)は7.56億ドルで構成比は1.73%と、10番目の規模。

※ 中国:0.35億ドル(0.08%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行